

APPEAL

発 行 者
JR 東海労関西地本
大阪台車検査車両所分会
2013年 8月1日
NO.37

電力会社が原発の再稼動にこだわる理由！！

電力会社が赤字にならない仕組み(総括原価方式)があるのに、電気料金が値上げ？

今、原発が止まっていると、電気が足りなくなるとか、赤字になるから値上げをしなければならないということが、さかんに宣伝されています。しかし、電力会社は絶対に赤字にならないという仕組みがあります。その仕組みが総括原価方式です。

この総括原価方式というのは、資産が大きければ、それに比例して儲けをとって良いという法律の仕組みです。必要経費と利潤を合計したものを埋め合わせるように、電気料金を決めてよいことになっています。つまり電力会社としては、儲けたいのであれば、大きな資産を持てば良いのです。その大きな資産こそ原発なのです。

なんと使用済み核燃料棒も資産？！

そして、見逃してはいけないのは原発で電気を作るため使用した、使用済み核燃料棒も電力会社は資産としているのです。前号でも書いたとおり、使用済み燃料というのは捨てることも出来ない、処理も出来ないゴミです。こういうゴミまで原発といっしょに資産に組み入れて金儲けをしてきたのですから、電力会社は笑いが止まりません。それで、電気料金を値上げ？！こんな国民を馬鹿にした話はないのではないのでしょうか？

電力会社は原発を廃炉にしたいくありません。なぜなら、廃炉にしてしまえば、資産ではなくなり利潤を上乗せ出来なくなるからです。つまり、このことは金儲けのために使ってきた原発が不良債権になることを意味します。このように、電力会社が原発の再稼動にこだわる理由は飽くなき利潤の追求です。福島第一原発事故の反省なんて、微塵もありません。

子どもたちの未来を奪う原発の再稼動に反対しましょう！！